

えどがわ革新懇が総会 70名越す参加 戦争する国づくりを許さない、力強い呼びかけ

えどがわ革新懇は、11月24日、総会。えどがわ革新懇は2018年に再建され、この7年間、区民要求実現と憲法九条改憲阻止、平和・民主主義・国政革新の闘いを総力を挙げて推進してきました。

記念講演は、五十嵐仁さんが「逆流を許さず、くらし・平和・民主主義を守ろう」のテーマで熱く語りました。70名を越す参加者で、熱気あふれる会場に。来賓は今井東京革新懇事務局長、原純子共産党前都議、大橋・小俣・牧野・太田区議、山本親江会会长がかけつけてください、激励の言葉をいただきました。来賓の方々が異口同音に強調されたのが。「献金疑惑の徹底解明」「九条改憲許さない」「国民生活擁護の闘いのいっそうの強化」「高市政権の戦争する国づくりを許さず、自民党政治を転換する」の力強い呼びかけでした。



中野区革新懇が中西新太郎横浜大名誉教授の講演会 若者は政治に何を期待したのか？貧困化が最大の原因



11月30日、快晴に恵まれた一日となり、50人を超える参加者の中で講演が始まりました。開口一番「『若い人・若者』とは年齢的にどういう人であるか？」、「年齢的な定義は明確にはなく漠然としている。法律や統計によって様々で統計調査では15歳から34歳、又は15歳から39歳を『若年層』とすることがある。社会的な感覚によっても異なる」とされました。その「若年層」に対し、今「貧困化」の波が重くのしかかっている。安倍政権が推し進め、その後の首相たちも同様に踏襲してきた「日本型新自由主義社会」によって、「若者の貧困化」の進行が社会生活の全体を覆うまでに深刻化していることを強く指摘されました。中西さんは、とりわけ「アテンション・ポリティクス」が、政治的舞台を拡げ政治的関心を触発することにも注意を払うべきと強調されました。

また「若者の保守化」と言われているが、これは「政治的な保守化」ではなく「生活保守主義」とみるべきではないかと話されました。ギリギリに追い詰められた現在の生活がこれ以上破壊されたくない、何とかして守りたい思いを表す

「保守=現状維持」と説明され、これらが今の生活を壊そうとする力（新自由主義政治）に抵抗する基盤ともなり得ると話されました。

資料には、多くの統計をグラフ加工化しても分かりやすく感じました。「質疑応答」では、数多くの質問・意見が寄せられ、そのすべてについて回答されるのは困難と思われましたが、「私はいつも与えられた時間内にすべてに回答をしております」とし、「宣言」どおり見事に全問回答されるという「離れ業」をご披露されました。

大田革新懇「新しい国民的・民主的共同」懇談

大田革新懇は、自民党総裁に極右の高市早苗氏が選出された情勢のもとで、10月10日、日港福会館で日本共産党が「新しい国民的・民主的共同をつろう」を受け止め、谷川智行日本共産党政策福委員長を招き、懇談会を行いました。

(2ページに続く)

懇談会には区内の団体・個人 27 名が参加しました。谷川さんからは、日本共産党第 6 回中央委員会決定に沿って、「新しい国民的・民主的共同を」広く国民に訴えたことを詳しく報告して頂きました。参加者からは、「新しい規定について、実践的には、もっと具体的な説明が欲しい」「共同提案の内容として、だれでも戦争には反対なので入れてほしい」「諸悪の根源は安保条約であり、正面に据えてほしい」「民商の会員さんのところでは、多くの外国人が働いており、外国人は心配している」などの意見が出されました。

「フェイクや差別、分断のない社会を」 共産党大田地区委員会が開催、自民、立民区議等参加

日本共産党大田地区委員会は、11月 28 日、アリコ展示室で、山添拓共産党政策委員長を迎えて、「フェイクや差別、分断のない社会を—新しい国民的・民主的共同をめざす懇談会@大田」を開催し、来賓の大田区議会議長や自民党、立憲民主党区議、無所属の区議など 200 名以上が参加しました。清水菊美区議団長が開会挨拶。市民連合おおたの会から海部幸造弁護士、鈴木隆之大田区議、立民津田智紀区議が挨拶。山添拓氏は、根拠もなく外国人に対する不安をあおる高市首相を厳しく批判、外国人が優遇されているとのデマに具体的に反論し、排外主義と断固としてたたかうと表明。フェイクや差別・分断のない社会をめざして、思想・信条・政党支持の違いを超えて力を合わせましょうと訴えました。

医療、中小業者、労働者、教育、韓国民団、女性運動、生活支援など、各界の参加者が取り組みを紹介しました。参加者からは、「来賓の方が幅広く、視野が広がった。差別・分断を許さない活動が、多くの分野、労働の現場で行われていることが良くわかった」などの声が寄せられていました。(大田後援会ニュースより)

福生革新懇 10 名参加で福生駅駅頭宣伝 中学生らしい若者が「物価高い、増税反対」と唱和



今年最後となる第 33 回福生駅宣伝行動を 12 月 20 日、10 名参加でおこないました。寒空でしたが用意したチラシ「福生革新懇ニュース 12 月号」「自民党政治さよなら くらし第 1 の政治に」それぞれ 39 枚ずつ合計 78 枚を完配しました。久しぶりの良い受け取りでした。6 名のスピーチでしたが、先月起きた横田基地でのパラシュート事故、政府高官の「核」保持発言、高市政権の危険性ともろさ、台湾有事発言、衆院定数削減法案、物価高、消費税削減、福生中学校の不登校率、など弁士が熱く市民に語り掛けました。中学生とおぼしき若者が「物価高い、増税反対」と唱和してくれました。(事務局長・原崇)